

# ファシズムのしくみ・体制 その1

歴史講座 第5回 03.9.20

昨日 (03年9月19日)、「誰がために鐘は鳴る」(ヘミングウェイ原作。義勇兵に参加。バーグマン、クーパーの競演) 上映あり。ナチ政権、ファッショイタリアの成立過程と人民戦線、反ファッショ統一戦線(コミンテルン第7回大会綱領。統一戦線方針)の対峙の典型であるスペイン内乱の時の話。フランコ独裁政権(39、3マドリード陥落。75年死まで)。

また、9月18日・・・15年戦争がはじまった満州事変(柳条湖)から72年。しかも、この7月、政府は戦争被害賠償要求裁判で「満州国は独立国」との答弁書を東京地裁に提出。これは日本が創ったかいらい政権であることを戦後初めて否定した暴挙。過った歴史認識の典型、偽造の状況下で。

(前回の年表、前々回の年表。ベルサイユ体制かの軍縮・平和維持のための諸国際会議などを土台に)

**問題意識**——第1次大戦後、2頁以下に引用したような体制・事実は、なぜ、どのような口実・理由で、だれが担って実現していったのか。どのようにファシズムは国民統合の舞台になっていくのかをみていく。

その場合に、全体主義は日、独、伊のいずれにせよ、画一な、一元化された国家目的・価値に国民を統制していくのだが、ゆえに、当然、個=または人権、人間の尊厳は切り捨てられる。個の極限なまでの否定でのみ成立するこの体制は、フランス革命が宣言した、いわば近代、人間像の基本である人権、自由、平等—一人格・人間の尊厳、つまり個を全体の利益で否定していく仕組み(文部省、「国体の本義」(3-362頁) 国体明徴の声明。「臣民の道」41.7刊。「一椀の食、一着の衣と雖も単なる自己のみのものではなく、また遊ぶ閑、眠る間と雖も国家を離れた私はなく、すべて国との繋がりにある。かくて我らは私生活の間にも天皇に帰一し国家に奉仕するの念を忘れてはならぬ」。天皇機関説、滝川事件の意味・共産主義ではなく学問・思想へ。2-361頁。転向現象。八紘一宇、大東亜共栄圏3-360頁。基本国策要綱—皇国の国是

それは国家神道(しんどう)の非科学性も、ナチやファッショの国家社会主義とか社会党、貧しさからの開放のための協同というように(いったい「社会主義とは」の定義を確認しておく)、どんな名で呼ぼうとも、個の確立、人権、人格の尊厳を抜きにしたところで成立する体制である。故に、キーは個・人格・人間の尊厳、とりわけてその背骨である内面の自由の確保がどう進むか、否定されるか、なににむけたマインドコントロールかを、ファシズム体制をみるモトサシとしてまず、みていくことになる。

その場合に、ファッショの理由、理念が意外で、異常なほど単純で乱暴な論理であることに気づく。なぜか。非論理を物理的力学で、暴力で統制し押さえつけて動員していくシステムである事(暴力によって自己の考えを押しつける石原東京都知事の発言)。論理はむしろ理不尽で単純でも、乱暴でもよくて、国民が最も凶暴な暴力や脅迫で一元化されていくシステムではないか(肇国(ちやくこく)・神話—神話を建国にしているのは韓国のみ・不破)。軍事・警察国家。治安維持法、特高警察体制の必然性。植民地獲得論へ。

\*

1) 第一次大戦の原因= 1900年までに終了した世界の植民地分割に、産業革命や近代資本主義が遅れて発展し、しかも急成長した国が、先進列強に再分割を要求してなぐり込んだ行動。故に、植民地支配のバランス、矛盾が解決されない、あるいは是正されない矛盾の環から第二次世界大戦になるが、そこに行くまでの国家体制の選択(労働組合のある国と無かった国の戦争—松岡三朗教授。米ニューディール)。

2) しかも、1917年、これまでの単一の資本主義体制がくずれた社会主義革命の発生。資本主義社会の基本的矛盾である恐慌の波が、襲い続ける。

第1次世界大戦の戦後処理のルールであり、恒久平和・国際協調体制をめざすベルサイユ体制を崩していく列強の行動。ウイルソン14ヶ条、レーニンの「平和宣言」(とり分けて、民族自決、領土無併合、非拡張、無賠償)を軸にして展開されると予定されていた事態の崩壊。ドイツは植民地のすべてや本土の13.5%、人口の10%も失い、1兆倍という極度のインフレと失業にさらされる。すべての権益を列強に配分された中国、アジア、アフリカ失望。戦勝国でありながら、戦争被害の大きく利益の少なかったイタリアが選ぶ道(35年エチオピア侵略、併合へ)。日・独・伊とも国際連盟脱退。三国防共同盟、三国同盟。

3) 米騒動、関東大震災、金融恐慌、世界大恐慌、農村飢饉の日本・・・戦争と植民地確保、拡大を狙って選択していく軍事・警察国家、全体主義国家=絶対的天皇制軍事国家。八紘一宇、皇国史観

\*

関連して、今日の有事法体制成立・改憲提案・改憲運動と、国家総動員法の成立過程と比較してみる。

145 国会で、国旗・国歌法が衆議院で 8 割の賛同を得て成立（議会での改憲勢力！改憲発議できる議会に憲法調査会初めて設置 00.1）。156 国会（03.7.28 了）で、有事法制、イラク派兵法セットで提案、成立。小泉首相、05 年までに改憲案という日程提案=首相としては初発言（03.8.25。首相公選のために改憲を、と内閣発足の際の改憲発言は鳩山以来 50 年ぶり。60 年安保盛り上がりの中で池田首相以後 15 代の首相、在任中の改憲せずと公約）、経済同友会財界からの初の憲法問題調査会意見書提案（03.4）、自民党憲法調査会：自衛隊を正式軍隊とする要綱案提出（03.7.25）、読売 2 回。住基法体制、個人情報保護法、教育基本法改正と裏表番組・自衛隊施行令改正案（9 月 17 日までに、有事三法成立をうけ、戦時下の医師、建設・運送業者などの強制動員を定めた政令案をまとめた）——大日本帝国憲法の 57 年の寿命と日本国憲法 57 年で成立した有事法体制の共通性と違いを確認しながら。

戦後の平和運動が、戦争被害の視点から、殴られた被害を土台に据えた平和運動から、はじめて殴る国家への転換のカジが切られたときに、同じ型の平和運動ではダメだ（渡辺治「有事法制へのシナリオ」）、戦争の型、質の変化の中での運動とも関連して提起。

### 天皇制ファシズムの仕組み・体制（大系 日本の歴史 小学館ライブラリー 江口圭一 364 頁）

翼賛体制と治安対策と国家神道のもとに、基本的人権と市民的・政治的自由を徹底的に奪いさり（まさにフランス革命で宣言した近代市民社会の柱、価値）、異端・異説とみなしたものを根こそぎ刈りとり、全国民を画一的に統制し、「眠る間」までふくめて私生活をもあげて天皇・国家に奉仕させる、そして対外的にはナチス=ドイツおよびファッショ=イタリアと結んで、民主主義・共産主義の絶滅をめざす「聖戦」=天皇の戦争に国民を総動員し、「天皇の御ために身命を捧げる」ことに最高の価値を与えるという政治体制、このような政治体制は独伊と共通するファシズムであり、その根拠が天皇および国体の尊厳にもとめられていたという意味で、天皇制ファシズムと呼ばれるべきものでものものであった。

### 「国家総動員」（昭和史 岩波新書 遠山茂樹、今井清一、藤原彰著 164 頁）

日中戦争が起こると、政府は 37 年 9 月から国民総動員運動を始めた。「八紘一宇」「挙国一致」「堅忍持久」などのスローガンのもとに、消費節約、貯蓄奨励、勤労奉仕、生活改善を説教した。古手の軍人・官僚を幹部にし、「興亜奉公日」を設定して、梅干し一つの「日の丸弁当」を強制したり、あるいはパーマネットをやめさせ、国民服やモンペ姿を男女の制服としておしついたりした教化運動は、国民の心を引きつけるものではなかった。しかし「ぜいたくは敵だ」というスローガンで、国民ひとりびとりの私生活まで、お互いに監視しあう風潮をつくり出し、また貧しい人々が常日頃いっていた富者への反感を、耐乏生活への率先協力という形で流し込んで階級意識をねむらせるなど、国民統制に大きな役割を果たした。

\* 国家神道——ナチズム、ファッショ運動と日本型全体主義のちがいと共通性。

<参考資料>

日本軍の推移（徴兵制 大江志乃夫 145 頁）。 前回の年表付資料参照。アジアに展開する日本軍。

1931 年	278 人	(1,000 人) 満州事変発生。現在の自衛隊 35 万人。戦争中は同数が朝鮮に。
37	593	日中戦争発
38	1,325	
39	1,420	第二次世界大戦
40	1,573	
41	2,411	日本第 2 次世界大戦参戦
42	2,829	
43	3,608	秋、在学生への徴集延期制廃止。学徒出陣。
44	5,395	
45	7,165	45 年は 8 月 15 日。他は年の 12 月。15 年戦争の間で、 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">30</span> 倍近く。海外へ 510 万

戦後恐慌、金融恐慌、世界恐慌へー世界恐慌の落とし子ナチズムといわれる

日本。大戦終結でヨーロッパ諸国復興、商品がアジア市場してくると、大戦景気とうってかわった苦境に。1919年には貿易は輸入超過に転じ、重化学工業は輸入品圧力にあえぐ。1920年には戦後恐慌、株の暴落、綿糸・生糸の相場は半値に。つづいて1923年関東大震災で、手形決済が不能になった銀行多く、取り付け騒ぎがおき、金融恐慌に。29年に世界恐慌がかぶる。ドイツ、イタリアの場合。

八紘一宇・・・「日本書紀」で初代天皇神武が橿原宮で即位したさいに発した「掩八紘而為宇」(はつこうをいおおいていえとなす)。40年7月26日、近衛内閣「基本国策要綱」を決定。「皇国の国是」を「八紘を一宇とする肇国(ちようこく)の大精神」にもとづいて「大東亜の新秩序を建設する」事にあるとして、そのために「強力なる新政治体制」を確立するとした。8月1日に発表され、松岡外相は「皇道の大精神に則りまず日滿支をその一環とする大東亜共栄圏の確立をはかる」と談話。この間、大本営政府連絡会議は基本要綱に対応する極秘方針「世界情勢の推移に伴う時局処理要綱」を決定。支那事変の解決促進と対南方施策を解決することをめざし、独、伊との政治的結束を強化し対ソ国交の飛躍的調整を図るとともに、南方問題解決のために武力行使するものとした。

満州事変ー15年戦争の出発。侵略戦争・クーデターについては年表参照。

<p>徴兵制、治安維持法・特高警察・官僚による国民統制組織を地域・職場を通して完成。      ・32年発足した大日本国防婦人会は、陸軍の支援うけ。36年末367万人が、37年末には685万人に。      ・40年、近衛、国民精神総動員運動に変わり国民再組織      ・軍部、一国民党狙う。8月新党にありつくために社会大衆党、政友会・民政党など全政党政解散。議会発生以後の無党状態。</p>	<p>9月「部落会・町内会・隣保班・市町村常会整備要綱」を道府県に通達。10月大政翼賛会発足。翌年、内務官僚・警察主導の国民統制組織に。部落会、町内会・隣保班が整備され翼賛会に組み込み。各地域組織は常会で政府方針伝達、国債消化・資源回収・勤労奉仕・防空訓練など、生活統制と相互監視へ。町内会・隣保班は、食料・衣料・燃料など、あらゆる生活物資の統制下での配給ルート故、国民は否応なしに参加せざるをえないしかけ。極度の物資不足下で。また隣組など国民自身による相互監視のシステム。非国民。</p>	<p>翼賛体制は治安対策強化と一体      反戦・反軍の嚴重な取締。40年12月、言論統制機関の内閣情報局設置。41・1国家総動員法による新聞紙等掲載制限令。3月国防保安法、国家機密保護のため死刑以下の厳罰に、同時に治安維持法・軍機保護法・刑法改正。とくに改正された治維持法の予防拘禁は、非転向は刑期が終了も釈放せず世界に例なし。</p>	<p>9政党解消議員、翼賛議員同盟結成。各議会、各界人で翼賛政治会をつくり唯一の政治結社。      正当化したイデオロギーは国家神道      古事記、日本書紀。日本は神がつくり現人神の天皇が君臨。天皇を家父長に一大家族国家。八紘一宇。滅私奉公。皇国史観。      37・「国体の本義」「臣民の道」      固定教科書・教育勅語体制。</p>	<p>親衛隊モデル。翼賛運動実践隊。      6大日本産業報告会・農業報告会・産業報告会・日本海運報告会・大日本婦人会・大日本青少年団の官製6団体翼賛会統合      42・1大日本翼賛壯年団、ナチ取締法、戦時刑事特別法制定。      12・言論出版集會結社等臨時</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

治安維持法 第1条 国体ヲ変革シ又ハ私有財産制度ヲ否認スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シ又ハ情ヲ知りテ之ニ加入シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁固ニ処ス 前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

北一輝「日本改造法案大綱」(2.26事件に至るまで軍部ファシストの理論的指導者。本書パイプに) 天皇大権を發動して3年間憲法停止、戒厳令を布く。華族廃止、貴族院の廃止、百万以上の私有財産、時価10万円以上の土地所有の禁止などを実施。(大内 ファシズムへの道 288頁。長、昭和恐慌 210頁) 大政翼賛会論(社会民主主義からファシズムへ転化の論理。社会大衆党の河野密 1-181頁。転向時代へ)

# 大東亜共栄圏の思想

ファシズムのしくみ・体制 その2

歴史講座 第6回 03.10.25

『さとうきび畑』(03年9月28日テレビ50周年ドラマ特別企画、TBS)。すぐ2,000通の投書と大反響。でも、名演した明石家さんま(父親)のような「人間らしく」とか「生きろ」などいう「非国民」が存在できたのか疑問。劇中長男が「生きろ」という父親の「非国民」をなじり、少年兵として志願して戦死していく。これが正常。なお、沖縄戦をくぐった阿波根昌鴻「命こそ宝」。

『暗殺の森』(9月29日NHKBS②)70年伊・仏・西独合作。ベルナルド・ベルトリッチ監督。第2次大戦直前のファシズム台頭と崩壊を背景に内務省の命令で恩師の暗殺に関わるファシスト党員の青年の運命。いったいノーマルな人間存在とは?がわからなくなる。自己のアイデンティティーをつかもうとするとファシストになること以外にない、ファシストこそが正常な人間という心理状態に追い込まれていく。性や文化の倒錯、混乱、狂気に追い込まれていく心理を描く凄惨な作品。

『花へんろ』(しんぶん赤旗日曜版連載小説 早坂暁 80回10月12日号。1933年当時。満州国問題で日本が国際連盟を脱退し、次に述べる松岡全権大使が連盟を「サヨナラ」といって席をけて退場していく場面=77回目>、ヒッラーが政権につく時代。昭和7年まで使われていた小学国語読本「ハナハト」(1918年から1932年まで)の教科書が、新しい「ススめ ススめ ヘイタイススめ」に。「尋常小学修身書」副読本に「天の岩戸」「天孫降臨」神話が多く登場していく状況を愛媛の書店の主人公が話している場面。

<参考>歴史認識・戦争責任と関連して:「ふたつの近代—ドイツと日本はどうちがうか」160頁以下。

146頁、1979年西ドイツ刑法でナチの犯罪には永久に時効がないことに。ワルトハイム国連事務総長(72~82年)、オーストリア大統領のドイツ軍将校として英国兵を虐殺したとの戦争犯罪の追及事件。

\*「不戦決議」の根本問題 吉岡義典(前衛95年6月号)日本の国会の事態の展開。

\*99年に西村前防衛政務次官が核武装発言。「大東亜・・八紘一宇を全地球に」。生きている発想!

資料での引用\*\*大東亜共栄圏 2700ケース以上。八紘一宇 1200ケースがある。

「大東亜共栄圏」の実態—日本占領下のアジア(沖縄県資料編集室編) 県教育委員会99.2) A4.21頁分。

「大東亜共栄圏は軍部が発想したものではなかった」Column of the history 大東亜共栄圏思想の正当性、深い歴史性を論じる大規模なシリーズ。一連の石原発言の正しさを賛美する。

「国民の歴史」西尾幹二(新しい歴史教科書をつくる会会長)。同会発行の教科書など。自虐史観(藤岡)。アドルフに告ぐ(手塚治虫。ものすごい作品。ファシズムの論理と体制が見事に描かれる。年表も文中にあり、これがまたいい。)ゴーマニズム(小林よしのり。ホローコーストは批判する。公のために個を捨てる。特攻隊賛美の論理。公を失った個は獣になる。350万部)。「大東亜共栄圏」の思想(柴沢幸二、講談社。一番使った。同著、日本のファシズム)。東大式レッスン「戦争の日本近代史—征韓論から太平洋戦争まで」(加藤陽子)。昭和恐慌—日本ファシズム前夜(長幸男)。軍事費(島恭彦)、日本の軍隊(吉田裕・以上三冊は岩波新書)。前回引用した「昭和史」、「ファシズムの道」。

## 大東亜共栄圏思想の構造。

大東亜共栄圏と最初にいったのは松岡洋右。1940年8月1日公表された「基本国策要綱」(40年7月26日閣議決定)の記者会見で解説。はじめて「大東亜共栄圏」が公用に使用された。

「日本の外交方針は、皇道(パソコンでは出てこない)の大精神にのっとり、…日・満・支をその一環とする大東亜共栄の確立を図る…」ことにあり、その範囲は、仏印<現在のベトナム、ラオス、カンボジア>、蘭印<現在のインドネシア>その他を包含<旧ドイツ委任統治諸島、タイ、英領マレーシア、ボルネオ、ビルマ、フィリピン、オーストラリア、ニュージーランド、インドなど>して確立されるべき、自給自足の「東亜安定圏」のことであると解説。基本国策要綱でいう「八紘を一宇とする肇国(ちようこく・建国)の大精神」(前回のレジメにあり。日本型ファシズムの特徴・家族主義、家長としての天皇のもとに形成される楽土)とか、「現下の外交は大東亜の新秩序建設を根幹」とするということの解説として。

(松岡洋右と時代背景。満州事変後、中国は国際連盟に日本の侵略を提訴。これに対して日本は傀儡政権満州国を建国し承認(32.9.15)。この間、国際連盟は満蒙の事態を調査するためリットン調査委員会が調査。甘い報告書だったが33.2月の連盟総会の対日勧告案が42対1で可決されると、松岡全権大使は席をけて退場。3.27日、日本政府は連盟を脱退した。以後、国際的孤立と中国への侵略が本格化し、37年に日中戦争に。このときの全権大使が松岡。外交官で満鉄副総裁だったが、政友会代議士。第二次近衛内閣外相)。

新しい歴史教科書(272頁以下)

1938年、近衛文麿首相は東亜新秩序の建設を声明し、日本、満州、中国を統合した経済圏をつくることを示唆した。これはのちに東南アジアを含めた大東亜共栄圏というスローガンに発展した。…大東亜会議。日本は戦争当初、連合軍を破り、長い間の植民地支配に苦しむアジアの人々を励ました。…占領軍支配でなく、ビルマ、フィリッピンを独立させ、自由インド仮政府を承認。1943.11アジア各地域に戦争協力と結束のために「大東亜会議」を開催。各国の自主独立、提携による経済発展、人種差別撤廃をうたう大東亜宣言が発せられ、日本の戦争理念が明らかにされた<教科書 280 頁>。中央に東条首相を囲んでアジア各国の政府代表の大きな記念写真掲載。

### 昭和18年の「東京サミット」、大東亜会議 (大東亜。Column of the Historyより)

「…この宣言を読まれてどう思われるのでしょうか? <共存共栄> <「互助敦睦 (とんぼく・人情があつく仲がよい)>、<伝統尊重> <経済発展> <人種差別撤廃> 等々、その理念は非常に高いものばかりです。アジア列強による植民地支配を受けてきた歴史を紐解けば分かりますが、植民地では… <共存共栄> 等もつての他、<経済発展> にしても、あくまでも <資源> と <労働力> の搾取が目的。… <人種差別> に至っては徹底していました。そんな欧米的発想と真っ向から対決する姿勢が、この宣言からは溢れています。…現在にまで通じるその理念理想まで、全く否定していいもののでしょうか? …大東亜会議の <歴史的意義> と採択された宣言について再考を迫りたい。として「大東亜宣言全文」を掲載。別の項目で「<大東亜共栄圏は軍部が発想したものではなかった> として、第一次近衛内閣の『東亜新秩序』『基本国策要綱』の以前、江戸期からあった思想」などと展開する。そして満州事変の立て役者「昭和陸軍最高の戦略・戦術家と称せられた奇才・石原莞爾の構想、= 東亜諸国民・民族の水平連合によって、欧米列強の覇道に対決するという <東亜連盟> 構想を唱え、満州に五族共和の王道楽土を標榜する満州国を建設したのだ。… 軍事大国日本は米英列強にやぶれ大東亜共栄圏は頓挫したが、奇蹟とも言われる高度経済成長で… 経済大国として復活。… 東南アジア諸国連合を結成し、アジア域内に独自の共栄圏をつくり出した。… 欧米に伍するために <大東亜共栄圏> から <大東亜共円圏へ>」と論じる。

### なぜ、「全体主義」でなくてはならないか。どこがマインドコントロールを担っていくか。政党解散・言論思想統制・弾圧・転向をへながら国民を統合していくシステム・哲学

内閣情報局 (1940.12 月設置。45.12 月まで) 言論・思想統制のための内閣直属の機関。1936 年設置の情報委員会から、37 年の内閣情報部を経て。企画院は内閣直属の総合策機関として戦争とファシズムの時代に対応する高度国防国家体制の樹立に。情報局は、戦争の正当性を内外に宣伝、国民のイデオロギー的統合を図るための機関。言論・思想・出版の統制、取締。大日本報告会の結成に尽力し、聖戦貫徹のための「思想戦」をリードしていく。大日本報告会の一連の著書。文部省の論・著作

「自由主義は政治的には、民主主義・議会主義となり、経済的には資本主義・営利主義、個人にあっては功利主義、個人主義、国際的には通商主義として現れる。この主義がフランス革命後の 150 年間にわたって人類の最高至高の政治原理… 絶対崇高な哲学規範として世界を風靡… 人類は封建的呪縛から開放され、個人の創意の伸張、生産の大規模な拡大や貿易による国権の伸長を可能に」。だが、自由主義は人類の幸福招来への阻害、矛盾要因に。人類は新しい時代の「全体主義的世界観」確立のために邁進。

自由主義国家観は、国家の基礎を個人におき、その本質を個人の合計ないし結合関係にもとめ… 個人の価値を国家や民族に優先させ、国家の任務を個の自由の実現におく。… 民主主義、自由主義、個人主義、共産主義が時代の精神としての歴史的役割を終え衰退した。

大日本言論報告会の「思想戦大学講座」などの論述。一連の国家論「大東亜共栄圏の思想」158 頁以下。

… 米英的世界観の本質が自己の精神ないし利己主義にあり… その自由・平等論やデモクラシー、資本主義や自由競争、モンロー主義、門戸開放、機会均等主義、民族自決や国際連盟などは、… 実態は侵略と搾取に象徴される自己の精神の具体的現れ「米英両国の自由・平等・機会均等々の政治スローガンの実体は、アングロサクソンの民族自己主義にある」「自由主義とは何をするにもわがまま勝手… 利己的生活態度。… 経済的には自ら利する利己つまり利潤追求に他ならない」「大東亜戦争は、道義的世界秩序の思想に立脚する日本と自己利益のみを中心とする近代的な功利主義的権力秩序の思想に基づく米英帝国主義的世界観秩序との戦い」160 頁。徳富蘇峰 (大日本言論報告会会長) の家族国家論 (169 頁～ 173 頁・皇国日本の大道。東条首相の八紘一宇の展開。文部省・大東亜新秩序建設の意義 1947 年などで展開される八紘一宇精神、アジア秩序の論陣) 104 頁)。中野正剛 (27 頁)「国家改造計画綱領」・現在世界は白人が科学をぶきとして地球の表面を優先的に分配したもの。人類間の公平を基準に正義を規範として… 国際正義の再建を)、松岡洋右「政党解消連盟趣意書」(51 頁)。北一輝 (大内 289 頁、国家改造法案大綱、大川周明の論など)。転向の論理・社会大衆党河野密 (昭和史 181 頁)。帝国主義列強秩序・資本主義の矛盾と批判。

世界史のなかの帝国主義時代の外的要因・外圧も受けて、国造りの基本、国民統合のキーを、皇国史観において進められた近代日本の形成。皇国史観の生命はなにか？ 大日本帝国憲法は絶対的天皇制を制度的に完成したものの。

憲法・皇室典範体制、教育勅語+国定教科書=教育による徹底したマインドコントロール。

中江兆民らの、人間個人の自立。「心神ノ自由」、「民権を保全するは国家を設くる目的なり」(植木枝盛)があるが消えていく。

「我カ国体ト相符フ所ニ依リ憲法ヲ欽定」すべき(81年7月岩倉大綱領18ヶ条)。また、伊藤博文、憲法政治に西洋は習熟している。「又宗教なる者ありて・・・人心此に帰一せり。然るに我が国に在ては宗教なる者微弱にして一も国家の機軸たるべきものなし。・・・我国に在て機軸とすべきは独り皇室あるのみ。・・・乃ち此草案に於いては君権ヲ機軸となし」と。第一次世界大戦(1914～1918)までの過程。

\*

1、皇国史観—日本は「皇国」であって、「神」である天皇が納める。国民は「臣民」(家来)として、天皇に仕えるという考えから日本歴史をとらえる史観。天孫降臨が基に。この史観を教育勅語、国定教科書、5節句・祝日行事などで、徹底的にマインドコントロール。

天皇神武が日本を建国した日を紀元節・2月11日(明治5年に出したときは1月29日。6年に2月11日に訂正。中国の予言思想の辛酉(しんゆう)革命説。1260年ごとに政治上の大変革。聖徳太子活躍の年から数えて西暦前660年を神武建国とした。5年の政令は太陽暦にした際の計算間違い。なお、建国記念日を制定している90ヶ国のうち神話に建国を求める国は韓国のみ。)紀元節は1948年廃止されたが、66年自民党提案で復活した。君が代、国旗法も99年成立。

「日本ヨイ国、キヨイ国、世界ニ一ツノ 神ノ国、・・・」修身国定教科書"ヨイコドモ・下"1/41年。  
「大日本は神の国である。神がこの国をお開きになり、天照大神が、天皇のお位を、ながくさかえますように・・・」(国定教科書初等科修身・1)といった。さらに日本が侵略したアジア地域につき「日本や南の海には、すでに新しい日本の国生みが行われました。」と書き、イザナミ、イザナギノ国生みになぞらえて、侵略を「神の国日本」による「国生み」として教える。(あぶない教科書 俵義文)。古事記、日本書紀の神話、国定教科書一覧(皇国史観と国定教科書・嵯峨著)。

ばかばかしい非科学的ことか？ 2009年5月15日、森総理「日本は天皇中心の神の国である」発言。  
—天声人語3回、潮流2回の記事あり。自虐史観攻撃。教科書論争。

2、憲法制定と同時並行して進められる機構づくり—①皇室および天皇大権確保に関するもの、②内閣および官僚機構に関するもの、③教育およびイデオロギー機能に関するもの、④警察および軍事機構に関するもの13項目。伊藤、山県らは民権勢力と対決しながら実現(日本の歴史色川大吉429頁)。

3、先進、列強も含めて、アジアでの民族解放運動や労働者・労働組合運動、労働法(20世紀に入ってから)などの社会的権利、社会政策年表などを、アジアへの列強侵略に入れていく必要あり。  
大きく歴史の転換の節となる第一次大戦を次回にする際に、提案。

\*7.0.10へ  
オーストリア

- 1760年頃～1830 英国産業革命。仏(1830～) 独(62) 米(61年) 日本(1904) ロシア(1928年) —このズレが植民地分割に影響。
- 1789 フランス革命
- 1791.6 ル・シャブリエ法(仏)  
(労働者の団結は「自由と人権宣言とに対する襲撃」として禁止。市民革命・市民法と"労働")
- 1799 団結禁止法(英) 1880 廃止
- 1800 団結禁止法(英) 1824 廃止  
(英普通法の共謀罪、24年撤廃された後もコモンロー上の共謀法理は残る。米商取引の自由妨害を違法。)
- 1802 徒弟の健康及風紀に関する法(英)  
(世界初の保護立法。が33年工場監督法迄は空文。  
これ以後、86年(伊)までの間に、産業革命の進展に合わせるように、まず少年保護法や各種保険法が、英、オーストリア(40)、仏(41)、独(61)、伊などで形成。19世紀初頭の段階では"労働"はわずかに婦人、児童への人道主義的救済にその萌芽。)
- 1812 機械破壊取締法制定(英)
- 1824 団結禁止法撤廃法(英)
- 1834 全国労働組合大連合結成(英・オーエン指導)
- 1840～2 アヘン戦争(中国分割支配の突破口)

- 1847 10時間労働法(英)
- 1848 共産党宣言刊。2月革命(仏) 3月革命(独) チャーチスト3回目請願運動(英)
- 1851 合同機械工組合成立(新型組合運動・英)
- 1853 米労働総同盟結成。ペリー米艦隊浦賀来航。
- 1862 米リンカーン大統領、奴隷解放宣言
- 1863 独、全独労働者同盟創立(ラッサール会長)
- 1864 国際労働者協会(第1インターナショナル)
- 1867 マルクス資本論第1巻刊
- 1868 明治維新。労働組合会議(TUC・英)成立。
- 1869 労働騎士団結成～
- 1871 パリ・コムニューン樹立
- 1875 社会主義労働党結成(英)
- 1877 米鉄道労働者全国スト、軍隊と衝突
- 1878 社会主義鎮圧法公布(独)
- 1880 仏、社会主義労働党結成
- 1881 英、社会民主連盟結成
- 1883 疾病保険法 84.12.1 施行に続く災害保険法、ロシア社会民主労働党を共産党と改名、フィンランドハンガリー、ポーランド、ドイツなど共産党結成。

- タフ・ベール事件(1901.7.22 上院最終判決) 労働運動に与えられ課題は如何にして罷業権、ピケット権を確立し併せて確立労組資金保障すべき課題。事件の最も顕著な社会的意義労働党の成長(労働組合の生成と変転 384頁・昭4刊) 刑事制裁から民事、寄金枯渇弾圧へ。
- 1903 幸徳、堺ら平民社創立。「平民新聞」創刊。
- 1904 日露戦争。片山とプレハーノフ壇上で握手。
- 1905 ロシア第一次革命。ポチョムキン反乱。
- 1906 英労働代表委を労働党と改称。日本社会党結成。足尾銅山大暴動。
- 1910 大逆事件の大弾圧。朝鮮を併合。
- 1911 中国、辛亥革命。1912 中華民国。清滅亡。
- 1914 第一次世界大戦。日本対独宣戦布告(8月)
- 1915 日本、対華21ヶ条要求
- 1917 ロシア2月革命、ツァー退位。10月社会主義革命。独、独立社会民主党結成
- 1918 独、ベルリン労働者50万人反戦スト。独革命—カイゼル退位、共和国宣言。日本米騒動全国に。日本シベリア出兵決定。

- 1919 第一次世界大戦終結と戦後体制の出発
  - ・ベルリン労働者20万人蜂起。軍部弾圧でローザ、リープクネヒト暗殺
  - ・朝鮮独立暴動 3.1
  - ・コミンテルン(共産主義インター) 創立。
  - ・中国 5.4 運動
  - ・ヴェルサイユ講和条約成立(6月) 国際連盟  
ウイルソン米大統領14箇条、レーニン「平和についての布告」。
  - ・国際労働組合連盟再建(7月)
  - ・ワイマール憲法採択(独7月)
  - ・友愛会「大日本労働総同盟友愛会と改称
  - ・ILO 国際労働機構設立—第1号条約、8時間労働制。日本未批准

以後、第一次世界大戦の残した矛盾の中から民族独立運動や民主的運動の展開と同時にファシストの登場、絶対的天皇制・日本軍国主義への体制展開。

# 戦争と侵略の天皇制ファシズム国家

歴史講座 第7回 03.11.22

問題意識——（戦争に直接関連する体制・思想にしばった年表を整理した。最初に読み前提を共有しておきたい。必要なところへの説明、解明をとりあえずしていく方式を進めたい。その際の視点として）。

1、大日本帝国憲法下の 57 年の間に 7～8 回の侵略戦争を起こした。同じ日本国憲法施行 57 年では戦争を起こさず、軍隊が内外の ~~も~~ただ一人も殺していない。

2、1914 年 8 月ドイツに宣戦布告してから、1945 年 8 月敗戦までの 32 年間、日本が海外に派兵しなかった年は 1926、1930 年の 2 年のみ。まさにこの 32 年の歴史・国家づくりは、~~まさ~~戦争と侵略植民地づくりの歴史。朝鮮・中国・日本の三角関係のなかで創られてきた歴史を支配と従属の関係植民地支配に変えていくなかで、再分割の利害がぶつかって戦争が発生している。日清、日露、1 次、15 年戦争の正体・意味。なぜか。なにを国民統合のキーにして？（前回の大東亜共栄圏思想と形成過程をいまいちど丁寧にみておく。戦争毎の口実と目的の変化・虚偽。「新しい歴史教科書」や「自虐史観」の偏向した歴史認識を完膚無きまで告発する著作。資料も充実。不破著<ここに『歴史教科書』問題の核心がある>。「あぶない教科書」俵義文著も）。

（第一次大戦に参戦した日本は、世界の「5 大国」「一等国」へ躍進し、アジア最大の工業国となり、現代文明を開花させた。まさに第一次大戦は、日本にとって「天佑」で有るかに見えた。しかしわずか 4 半世紀後、全土を焼土と化し、原子爆弾の惨禍をこうむり、外国軍隊の占領下に独立をうばわれ、飢餓にあえいでいたのである。そして日清戦争いらいの全獲得物を精算され、固有の領土である千島列島まで喪失した——永原慶二、朝尾直弘、江口圭一、吉田孝、<日本の歴史・二つの戦争・江口担当。近代、20 世紀が獲得した民族自決、国家主権、友好親善の共存などの視点とは若干違うが？>）。

3、石原都知事のまたか暴言！

戦前の朝鮮半島支配を正当化する発言。「武力で 侵略 したんじゃない」「（韓国併合は）彼らの総意で行われた」「どちらかといえば、彼らの先祖の責任」（10 月 28 日、都内での集会）。日本の植民地主義は人道的、人間的（10 月 31 日、都庁記者会見）。

韓国マスコミの批判続発。「妄言は日本の恥」「日本の良識はどこに行ったのか」「<石原妄言>日本の代弁か」「アジアべっ視の視線感じる」。本多勝一「なぜ”臆病な虚人”が首都の長か」11.21 大きな論文「学問文化欄」。なお投書あり。以前、「創氏改名」制度を皇民化政策（朝鮮史 189 頁、内面支配、朝鮮語禁止。日本語教育）のなかで強制したことはなく朝鮮人が就職のためなど自ら望んでやったといった政治家がいた。「朝鮮史 その発展・梶村秀樹著」が大変よい。年表も含めて優れている。

なにが、どういう口実で、争われ、どう支配を拡大していったか、共有しておく。人的、物的な儲け、経済的、政治的利益を上げたか。結果（朝日ジュニアブック<日本の歴史>から）。「イラク ~~資本~~を狙う巨大アメリカ資本」BS。テレビ朝日サンディープロジェクト。5 回シリーズ軍産複合体。ものすごいルポ。海外派兵、死者数は資料に。

日清戦争

日露戦争

第一次大戦・前前回

シベリア出兵

満州事変・満州国建設

2. 26 クーデター、日中戦争。

第二次世界大戦・前回 + α



## 大戦後の軍縮・平和に関する主要国際会議・条約

パリ講和会議・ヴェルサイユ条約 1919～20 27ヶ国参加。第1次世界大戦講和会議  
国際連盟成立（ウィルソン提唱）

ワシントン会議（ハーディング（米）提唱）

海軍軍縮条約 1921～22年 米・英・日・仏・伊5ヶ国 主力艦保有制限

5 : 5 : 3 : 1.67 : 1.67

4ヶ国条約 1922年 米・英・仏・日 太平洋上の各国領土を尊重。日英同盟の破棄。

9ヶ国条約 1922年 米・英・仏・日・伊・オランダ・ベルギー・ポルトガル・中国

ー中国における列強の覇権否定と中国の領土保全。日本の中国への侵略後退

ローザンヌ条約 1923年 トルコと大戦連合国間の条約。トルコへの過酷なセーブル条約改訂

ジュネーブ議定書 1924年 自衛以外の武力の行使ヲ禁止。集団安全保障の初の試み（批准得られず）

ロカルノ条約 1925年 英・仏・独・伊・ベルギー・ポーランド・チェコの7ヶ国による欧州安全  
保障条約。ドイツ国連加盟承認

ライン保障条約 英・仏・独・伊・ベルギーの国境不可侵条約

ジュネーブ海軍軍縮会議 1927年 米・英・日・仏・伊の一般艦艇保有制限。米英対立で不成立。

不戦条約 1928年 紛争解決手段としての戦争を放棄する事を約束（ケロッグ・米、ブリアン  
・仏提唱。画期的不戦条約。日本も含め当初15ヶ国調印。）

ロンドン軍縮会議 1930年 米・英・日の補助艦保有制限 仏・伊は不参加。

\*

1760年頃～1830年 英国産業革命。仏（1830～）独（62）  
米（61年）日本（1904）ロシア（1928年）ーこの  
ズレが植民地分割に影響。

1789 フランス革命

1791.6 ル・シャブリエ法（仏）

1802 徒弟の健康及風紀に関する法（英）

（世界初の保護立法。これ以後、86年（伊）までの  
間に、産業革命の進展に合わせるように、まず少年保  
護法や各種保険法が、英、オーストリア（40）、仏（41）、  
独（61）、伊などで形成。19世紀初頭階では"労働"は  
わずかに婦人、児童への人道主義的救済にその萌芽）。

1824 団結禁止法撤廃法（英）

1840～2 アヘン戦争（中国分割支配の突破口）

1847 10時間労働法（英）

1848 共産党宣言刊。2月革命（仏）3月革命（独）  
チャーチスト3回目請願運動（英）

1851 合同機械工組合成立（新型組合運動・英）

1853 米労働総同盟結成。ペリー米艦隊浦賀来航。

1862 米リンカーン大統領、奴隷解放宣言

1863 独、全独労働者同盟創立（ラッサール会長）

1864 国際労働者協会（第1インターナショナル）

1867 マルクス資本論第1巻刊

1868 明治維新。労働組合会議（TUC・英）成立。

1869 労働騎士団結成～

1871 パリ・コンミュン樹立

1875 社会主義労働党結成（英）。

- 1877 米鉄道労働者 全国スト、軍隊と衝突。1878 社会主義鎮圧法公布 (独) 1880 仏、社会主義労働党結成。1881 英、社会民主連盟結成。ロシア社会民主労働党を共産党に。独、養老・廃疾保険法など一連の労働者保険法をビスマルク創設。生存権の国家的配慮の1歩。マルクス死。
- 1884 職業組合法——(仏) シャブリエ法の命を絶つ。フェビアン協会結成 (英)
- 1886.5.1 米、各地に8時間労働制要求スト。ヘイマーケット事件。メーデー起源。・フランス労働組合全国連合結成・アメリカ労働総同盟 A F L 結成
- 1889 大日本帝国憲法発布 (2.11)。第2インターナショナル、パリで結成。
- 1890 独、社会主義鎮圧法撤廃。初の国際的メーデー (5.1) 第1回衆院選 (7.1)。教育勅語 (10.30)。
- 1894 米、鉄道労働者の全国スト、軍隊と衝突。  
**日清戦争—近代最初の侵略戦争**、以後10年毎に。
- 1895 仏、労働総同盟 (C G T) 結成
- 1897 日、労働組合期成会結成。鉄工組合結成
- 1899 横山源之介「日本之下層階級」
- 1900.3 治安警察法公布 (日、労働組合死刑法)
- 1901 アメリカ社会党、フランス社会党結成  
片山潜、幸徳秋水ら社会民主党結成、即日禁止  
タフ・ベール事件 (1901.7.22 上院最終判決)
- 1903 幸徳、堺ら平民社創立。「平民新聞」創刊。
- 1904 **日露戦争**。片山とプレハーノフ壇上で握手。
- 1905 ロシア第一次革命。ポチョムキン反乱。
- 1906 英労働代表委を労働党と改称。日本社会党結成。足尾銅山大暴動。
- 1910 大逆事件の大弾圧。朝鮮を併合。
- 1911 中国、辛亥革命。
- 1912 中華民国。清滅亡。明治天皇死、大正に。
- 1914 **第一次世界大戦。日本対独宣戦布告** (8月)
- 1915 日本、対華21ヶ条要求 1916 工場法施行 (9.1)
- 1917 ロシア2月革命、ツァー退位。10月社会主義革命。独、独立社会民主党結成
- 1918 独革命—カイズル退位、共和国宣言。  
日本米騒動全国に。**日本シベリア出兵**。
- 1919 第一次世界大戦終結と戦後体制の出発  
・朝鮮独立暴動 3.1 ・コミンテルン (共産主義インター) 創立。・中国 5.4 運動 ・ヴェルサイユ講和条約成立 (6月) ウイルソン米大統領 14 箇条、レーニン「平和についての布告」。  
・ワイマール憲法採択 (独 7月) ・I L O 国際労働機構設立—第1号、8時間労働制。
- 1920 国際連盟・パリで成立 (1.16) 八幡製鉄2万数千人スト、溶鉱炉の火を落とす。憲兵干涉。戦後恐慌 (3)。日本最初のメーデー。上野公園で。
- 1921 夕張など賃下げ反対スト2万7千。三菱造船、造船川崎 3.8 万人スト。プロヒンテルン (赤色労働組合インターナショナル) モスクワで結成。  
日本シベリア撤兵。ムッソリーニ、ローマ進軍 10。
- 1922 全国水平社創立大会 (京都) ・日本共産党結成 (7.15) ・学生連合会結成
- 1923 社会主義インター結成 (5.22)。関東大震災 (在日朝鮮人、亀戸事件、大杉栄夫妻) 3 大虐殺
- 1925 ・普通選挙法成立 (3) ・治安維持法公布 (4.22)。中国 5.30 事件。
- 1926 (昭和元年) 共同印刷スト。労働農民党結成。浜松日本楽器スト 105 日に。
- 1927 金融恐慌 (3) **第一次山東出兵** (5) コミンテルン、日本に関するテーゼ (27年テーゼ)。
- 1928 函館ドッグゼネスト。普選法第1回選挙 (3)。3.15 共産党弾圧。海員組合スト、最賃制確立。張作霖爆殺事件 (6.4)。特別高等警察 (特高) 全国に (7.5)。日本労働組合評議会 (全協) 結成。不戦条約調印 (8)。
- 1929 山本宣治代議士、刺殺。  
世界恐慌始まる。暗黒の木曜日 (10.24)。東京市電ゼネスト。
- 1930 金解禁。ロンドン海軍軍縮会議 (1)。浜口首相狙撃 (11.14)。・コミンテルン第7回大会 (7~8)、反ファシズム統一戦線、反帝民族統一戦線の理論と政策。

- 1931 桜会・大川周明ら軍部クーデター未遂 (3)。
- ・重要産業統制法公布 (4.1)
  - ・満州事変(柳条湖事件) 9.18 15年戦争突入。
  - ・金輸出再禁止 (12)、金兌換停止 (12.17)
- 1932 第一次上海事変 (1.28)。井上蔵相暗殺(血盟団事件 2.9)。満州国建国宣言 (3.3)。団琢磨、暗殺(血盟団事件 3.5) 陸、海軍将校ら犬養首相射殺 (5.15)。日本共産党 32年テーゼ発表 (7.10)。
- ・ナチス、第1党になる (7.30)
  - ・満州国承認、日満議定書調印 (9.15)
- 1933・ドイツ、ヒトラー内閣成立 (1.30)。
- ・小林多喜二 (2.20)。
  - ・ドイツ国会放火事件 (2.27)
  - ・日本、国際連盟脱退 (3.28)。
  - ・ニューディール政策開始 (33.6~36)
  - ・京都大学、滝川事件 (5.25)。
  - ・佐野学・鍋山ら共産党幹部ら獄中で転向声明。
  - ・大日本生産党クーデター発覚(神兵隊事件、7.11)。
  - ・ドイツ、軍縮会議と国際連盟離脱を通告 (10.14)。
  - ・松岡洋右、政党解消連盟を結成。
- 1934・満州国帝政、皇帝溥儀 (3.1)。
- ・ヒトラー総統に就任 (8.2)。東北農村で飢饉。
  - ・ソ連、国際連盟に加盟 (9.18)
  - ・政府、ワシントン海軍軍縮条約廃棄を通告 (12.29)
- 1935 美濃部達吉の天皇機関説、問題化 (2.19)
- ・ドイツ再軍備宣言 (3.6)。中共の抗日救国宣言 (8.1)
  - ・相沢中佐、永田軍務局長を暗殺(相沢事件) (8.12)
  - ・イタリア、エチオピア戦争 (10.3)。
  - ・ドイツ、国際連盟脱退。
  - ・大本教、不敬事件 (12.8)。
- 1936・ロンドン海軍軍縮会議脱退 (1.15)。
- ・2・26事件。皇道派青年将校ら 1500人によるクーデター。斉藤内大臣、高橋蔵相ら殺害。
  - ・メーデー禁止 (3月)。
  - ・スペイン内乱 (7.17)
  - ・日・独・伊防共協定調印 (11.25)
- 1937・文部省編「国体の本義」刊 (5.31)
- ・盧溝橋で日中両軍衝突(日中戦争 7.7)
  - ・閣議、「国民精神総動員実施要項」(8.24)
  - ・第二次国共合作成立 (9.23)
  - ・日本軍、南京占領、南京大虐殺 (12.13)
  - ・人民戦線事件 (12.15)

- 1938・御前会議「支那事変処理根本方針」決定 (1.11)。
  - ・大内兵衛・美濃部亮吉ら教授グループ検挙 (2.1)
  - ・ドイツ、オーストリアを合併 (3)
  - ・国家総動員法 (4.1)・・・有事立法と同じ。
  - ・産業報国連盟創立 (7.30)
  - ・政府「東亜新秩序」声明 (11.3)
- 1939・ノモンハン事件・国民徴用令交付 (7.8)
- ・第二次世界大戦勃発 (9.1)
- 1940・社会大衆党解散(7.6)・総同盟解散(7.8)
- ・日・独・伊三国同盟締結 (9.27)
  - ・大政翼賛会発会式 (10.21)
  - ・大日本産業報告会結成 (11.2)
- 1941・戦陣訓示達 (1.8)・生活必需物資統制令公布 (4.1)。
- ・日ソ中立条約調印 (4.13)。
  - ・御前会議「情勢の推移に伴う帝国国策要綱」決定 (7.2)。
  - ・日本軍、南部仏印進駐 (7.28)
  - ・米政府、対日石油輸出禁止 (8.1)
  - ・御前会議「帝国国策遂行要領」決定 (11.5)。
  - ・米國務長官「ハルノート」提示 (11.26)
  - ・御前会議「開戦決定」(12.1)
  - ・日本軍マレー上陸、真珠湾攻撃、太平洋戦争勃発 (12.8)

1937年以降のアジア地域の日本軍  
 朝鮮 354,000人。中国(満州ふくむ) 2221,500人  
 インド、ビルマ 246,900人 台湾 227,900人。  
 フィリッピン 613,800 仏領インドシナ 108,700人、  
 タイ 112,400人。マラヤ、オランダ領、東インド  
 486,700人。ニューギニア、ビスマルク諸島、ソロ  
 モン諸島 392,800人、中部太平洋諸島 342,800人。  
 合計 8地域で 5,107,500人

第二次世界大戦の世界の死者 6,000万人  
 15年戦争の日本人死者 310万  
 (内民間人約 80万)  
 中国はじめ諸国民・民族の死者  
 2,000万人から 3,000万人

# 第二次世界大戦——

——原因・正体、口実、事実、基礎データ

03.12.20 第8回歴史講座

問題意識\*\*\*前回、会員の方から、人間の尊厳・人格＝内面の自由が極限までに規制されるファシズムの本性を知った。戦前の状態をしらない私たちの世代は、現在の「自由のありがたさ」をあたりまえに感じ、自覚していない・・・と言ったようなお話をお聞きしました。全世界を巻き込み、核戦争の時代はまだ扉をひらいてしまった第2次世界大戦の正体を、どの視点、切り口で解明すれば伝えられるかを悩んでいたところでした。10コースくらいでレジメづくりを考えました(例えば、日、独、伊三国同盟の形成、展開過程を窓にとか、日・朝・中の三角関係の窓から、前回の大東亜共栄圏など新秩序から、もとより反ファシズム統一戦線運動から)結果、「いまのありがたさ」に正面からかけられている改憲攻撃のいま——日本の近代史、戦後史の大転換点の事態と思うのです。6000万人も死んだ戦争、他国を大国が平気で売り買い、取引する、侵略を重ねる事態、原因、理由・・・逆に歴史の奔流・本流の画期的な価値の誕生・発展＝平和的生存権、民族自決、国家主権、戦争は違法だという規範の獲得とその発展過程、異文化、宗教の共存。その歴史の発展、革新の価値が塗り込められた人類普遍の価値・宝の憲法の改悪がリアルに動き出しています。一大転機。国連憲章や憲法前文にあるように、多大の犠牲を払って全人類が獲得し到達した価値とこれへの攻撃の意味・原因を学びあっておいて、そのメガネで第二次世界大戦を見ていきたいのです。日、独、伊のファシズム国家の動きからの年表を創ってみました(日独伊三国同盟と第二次世界大戦・岩波ブックレットを土台にして)。点検し、見ておいて下さい。第二次世界大戦本体は次回に中心的に2回で。渡辺先生グループの新刊も出ましたので。イラク派兵、武器三原則見直しが実行されそうです。

1936～36年。日、独、伊の接近。旧秩序——ベルサイユ体制・ワシントン体制の「旧秩序」を打破し、「世界新秩序」形成に活発化。

1931.9.18 柳条湖事件。満州事変。15年戦争へ。

1932.3.1 満州国建国宣言

1933.1.30 ヒットラー内閣成立

1935.10.3 アビシニア戦争(エチオピア)——イタリア侵略。国際連盟の対応をめぐり権威が最終的に失墜。日、独、伊3国の結束に大きな影響。満州事変の影響大きい。

◀\*コミンテルン第7回大会。反ファシズム統一戦線政策。日独伊の戦争拡大危機に反対す  
国際統一戦線結成呼びかけ。「社会ファシズム」克服。スペイン、仏に人民戦線内閣

1936.7.17 スペイン内乱

10.25 ローマ、ベルリン枢軸成立

11.25 日独防共協定調印

1938.3.13 ドイツ、オーストリア併合

英・仏・独・伊、ミュンヘン会談

11.3 近衛首相、東亜新秩序建設声明

1939.5.22 独・伊軍事同盟調印

8.23 独ソ不可侵条約調印

9.3 第二次世界大戦はじまる

1940.4.9 ドイツ軍攻勢

6.10 イタリア参戦

7.26 近衛内閣、「基本国策要綱」で大東亜新秩序建設明記。

9.27 日独伊三国同盟成立

1941.4.13 日ソ中立条約調印。「満州国」を枢軸国以外で事実上認める数少ない国の一つに。

6.22 独ソ戦はじまる

7.3 南部仏印進駐。仏受け入れ。米、自国の日本資産凍結。英、オランダも。8.1 米から日本への石油輸出全面的に停止。大打撃を逆用して米英との戦争突入で、南方資源獲得へ。「ABC包囲陣」で日本圧迫の宣伝。

12.8 太平洋戦争はじまる

1942.1.1 連合国共同宣言調印

1943.9.3 イタリア降伏 1945.5.7 ドイツ降伏 8.15 日本降伏

